

ザ ク ロ ス
「ZACROS」って
どういう意味？



ZACROS株式会社

(証券コード：7917)

2025 年 11月

代表取締役社長 下田 拓

社名変更お知らせサイトでも
ご覧いただけます。



下田 拓 (しもだ たく)

1972 年生まれ

1995 年 3 月 明治大学 商学部 卒業

1995 年 4 月 松下電器産業(株) (現パナソニックHD(株)) 入社

自動車用蓄電池の営業 及び マーケティング

Panasonic Energy (Thailand) Co., Ltd. 出向

2010 年 藤森工業株式会社 入社

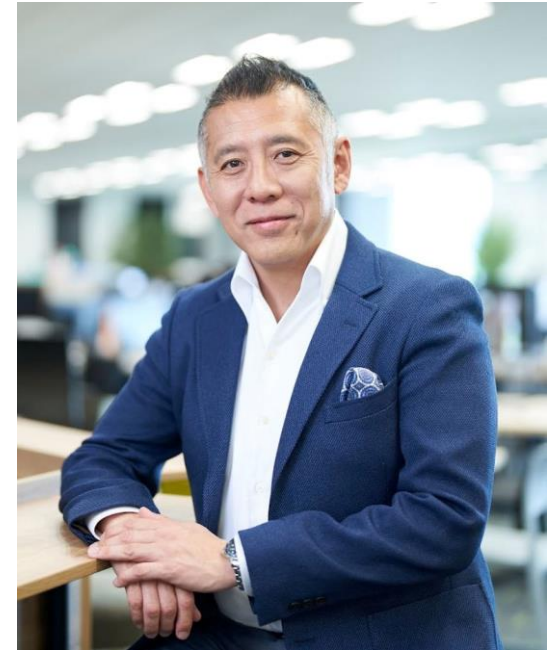
2012 年 ZACROS AMERICA, INC. 出向

2018 年 先端医療事業

2021 年 ウェルネス事業 (取締役・事業本部長)

2023 年 経営企画 (取締役専務執行役員・社長室長)

2024 年 代表取締役社長

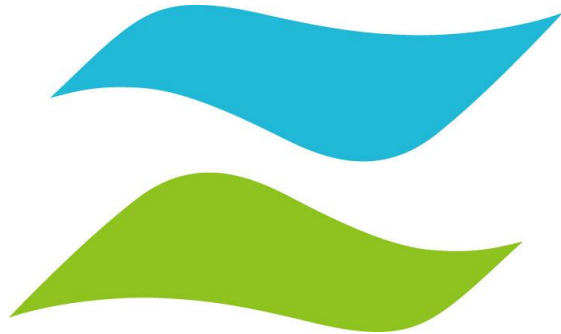


ザ ク ロ ス
「ZACROS」って
どういう意味？



社名変更お知らせサイトでも
ご覧いただけます。





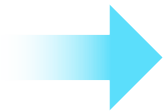
ZACROS



2024年10月1日に社名変更

1914年～

藤森工業株式会社



2024年～

ZACROS株式会社

ZACROS株式会社

創業
111周年

シェアNo.1
製品

世界初
日本初

16期
連続増収

株式
4分割

基準日 9月末

株主還元

基準日 3月末

会社概要



会社名

ZACROS株式会社
(ZACROS Corporation)

創立

1914年（大正3年）4月1日

資本金

66億68万円

本社所在地

〒112-0002
東京都文京区小石川一丁目1番1号
文京ガーデンゲートタワー22階

従業員数

1,305名（単体）
2,648名（連結）

連結売上高

1,507億円

（2025年3月31日時点）

ウェルネス



産業インフラ



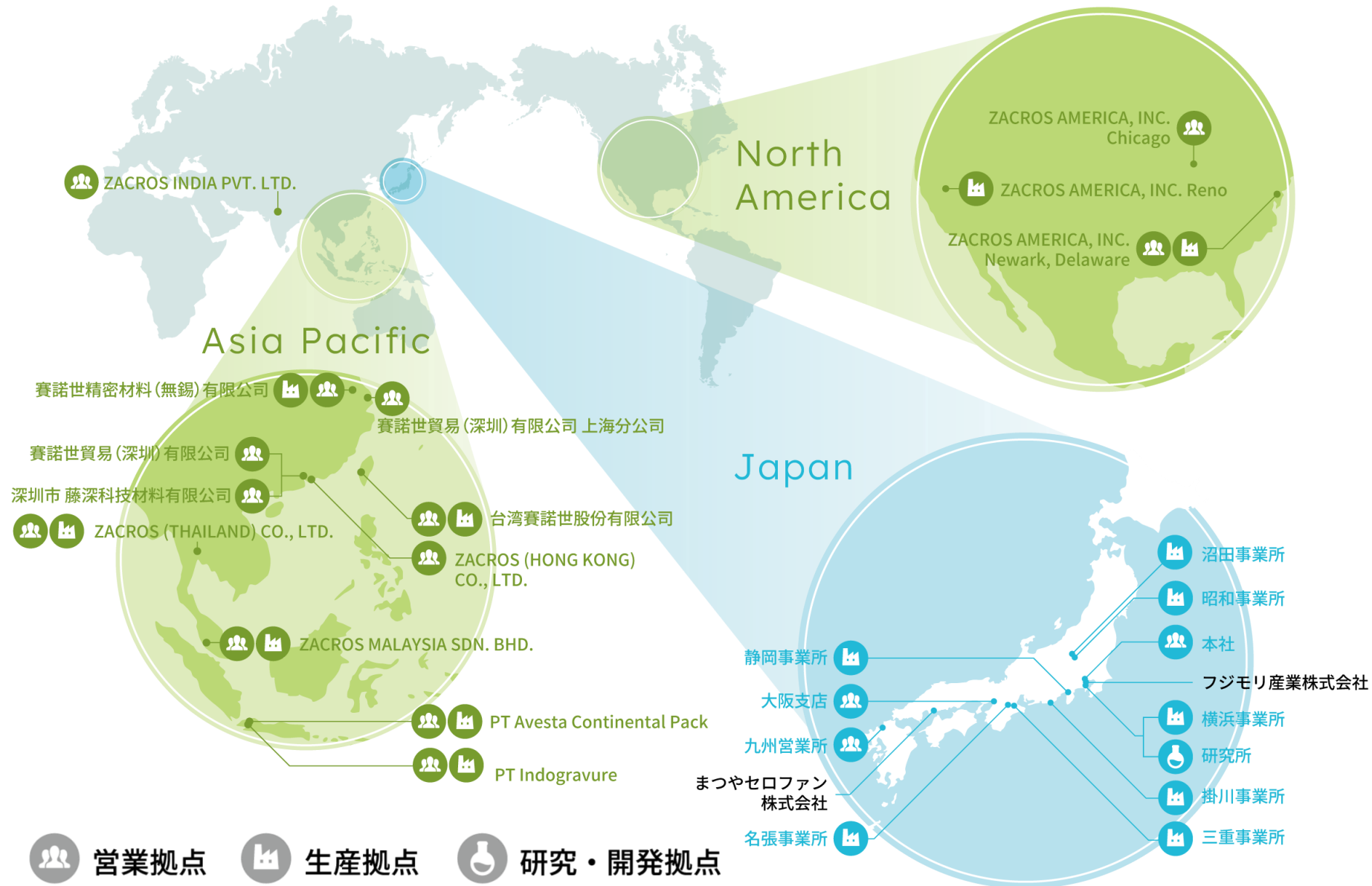
環境ソリューション



情報電子



2024年度
連結売上高
1,507億円



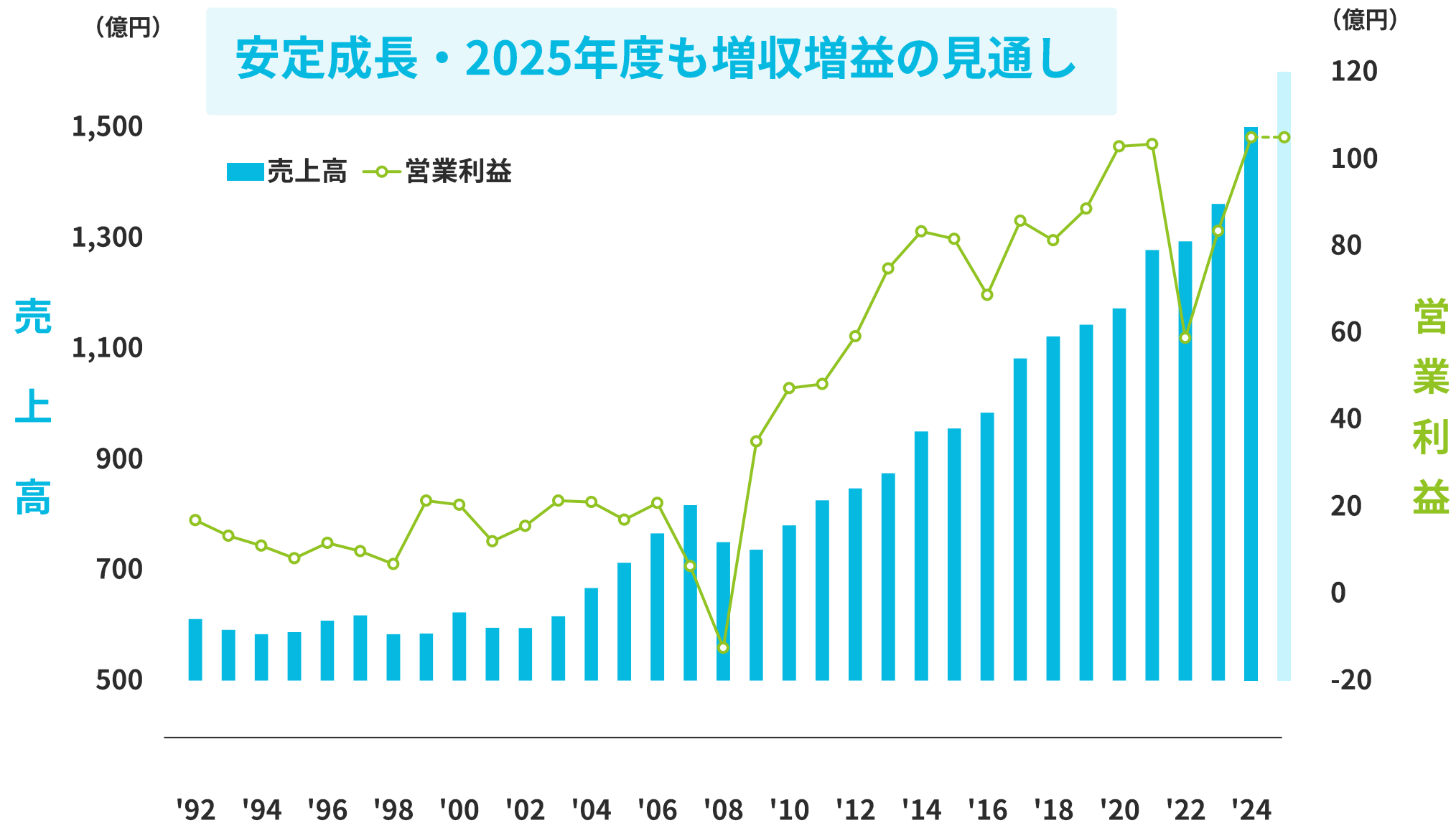
国内

11
拠点

グループ会社 2社

海外

7カ国
16拠点



111年の挑戦が生んだNo.1製品

1914 年（大正3年）、絹製品を包み守る製品を開発



防水・防湿紙
「藤森式ターポリン紙」



世の中の潜在的な「困り事」に挑む「ソリューション創造活動」は
創業当初から、現在も受け継がれています



レトルトパウチ



シャンプー向け小袋包装



タッチパネル



味噌包装



テトラ・クラシック®



トンネル用防水シート



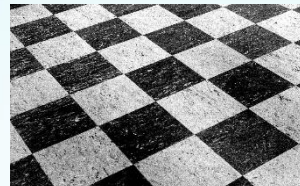
防水シート



ポリエチレンラミネーター



つめかえパウチ



アスファルトタイル



義歯型取り材

お客様や社会の潜在的な「困り事」に先行して挑む「ソリューション創造活動」により
新しい解決策を創出

ファーストエントリーから生まれた、シェアNo.1製品



※自社推計

家庭の困り事と自社技術を組み合わせ、シェアを拡大



No.1 化粧品向けつめかえパウチ
国内シェアNo.1※



つめかえ文化を提案し、大幅に
プラ使用量、CO2排出量を削減※



リサイクルしやすい
環境に配慮した製品開発

※自社推計

中長期の成長戦略

ソリューション創造活動の進化

積極的な先行投資

投資成果の収穫

2023

売上高
1,361億円
投資額
179億円
ROE
5.4%

2026

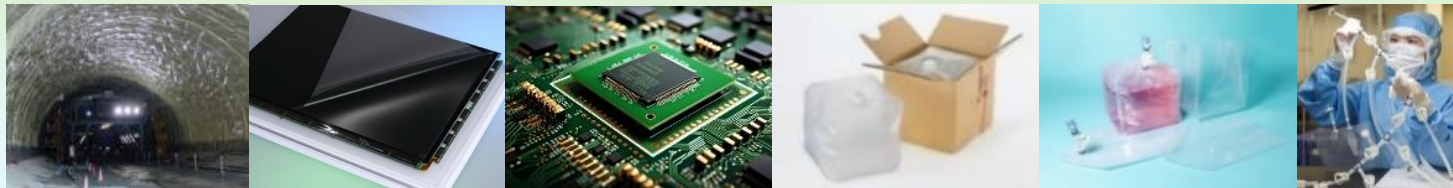
売上高
1,650億円
投資額
700億円 + α
ROE
6.2%

成長牽引事業

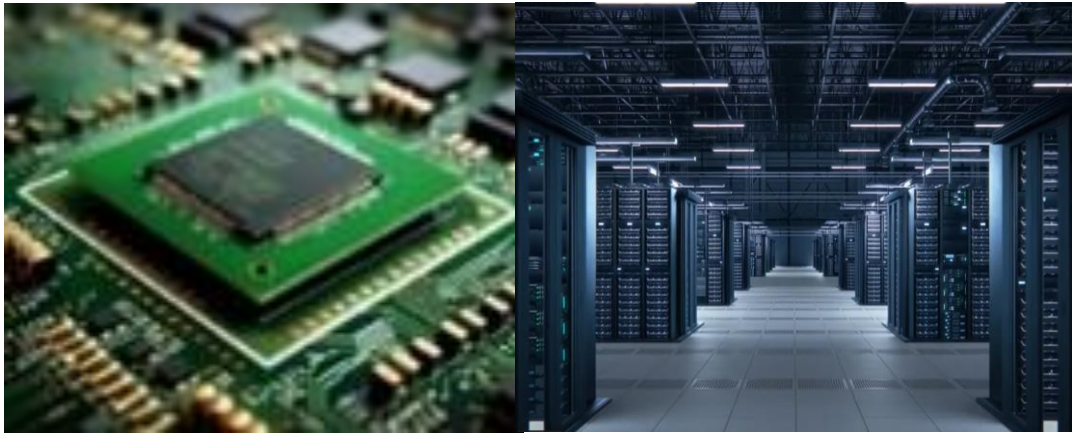
2030

売上高
2,200億円
投資額
400億円 + α
ROE
12%

育成事業



高性能半導体向け層間絶縁体（ABF）の製造・生産を受託



No.1 製造品である積層半導体パッケージの層間絶縁体は世界シェアNo.1

UP 今後自動運転やAI高度化・普及によるサーバー/データセンターの増設に伴い、更に需要拡大見込み

 130億円を投じ、昭和事業所の生産能力を拡張中



グローバルな血液検査市場拡大を見据えた生産・マーケティングの強化



No.1 成形タイプの折りたたみ液体容器
世界シェアNo.1 ※

2026年上半期、中国工場稼働開始により中国市場の需要に対応

UP インド販売法人設立により販売力強化（2026年1月営業開始予定）

※自社推計

国内メーカーとして先がけて開発に挑戦



No.1

バイオ医薬品向け工程資材
国内シェアNo.1※



ワクチン、抗がん剤などの更なる
需要増加 → 三重事業所の生産能力
を3倍に拡張



再生医療、培養肉などに応用

※アッセンブリサービスでシェアNo.1/自社推計

医療から環境分野まで、幅広い社会課題の解決に貢献するために活動中

社会課題

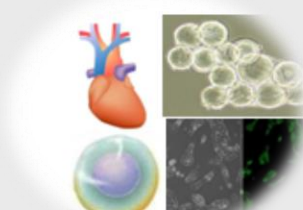
生命倫理



健康寿命



ドナー不足



食糧問題



環境汚染



展開テーマ

検査用細胞

遺伝子治療医薬品

再生医療

細胞性食品

生分解性バイオマス樹脂



シングルユース
バイオ医薬品製造工程資材

 ZACROS

大量培養技術

槽振とう培養装置



大阪大学大学院工学研究科、株式会社島津製作所、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社、TOPPANホールディングス株式会社、株式会社シグマクシスの6者からなる「培養肉未来創造コンソーシアム」に参画

細胞性食品



培養肉未来創造
コンソーシアム
Consortium for Future Innovation by Cultured Meat



NEDO助成プロジェクト



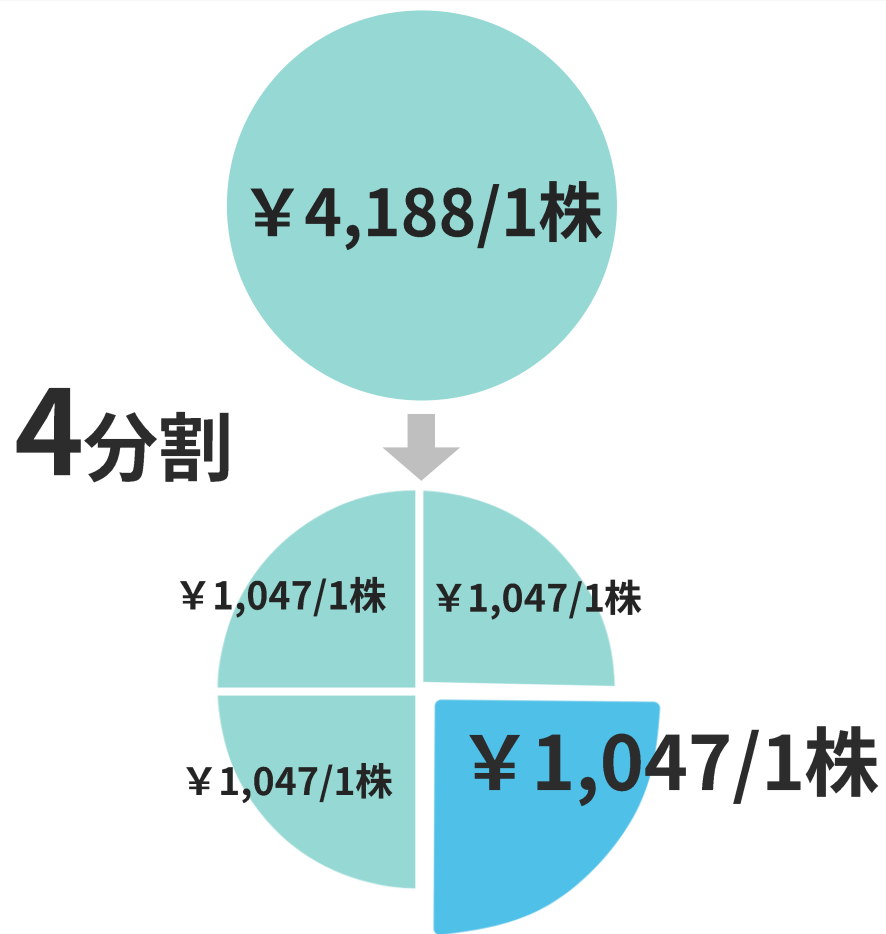
©培養肉未来創造コンソーシアム

大阪・関西万博2025の大阪ヘルスケアパビリオン
に培養肉未来創造コンソーシアムは培養肉を提供

株主還元

2025年9月30日を基準日として、
株式分割をいたしました

分割により、投資に必要な金額が下がり、
より購入しやすくなりました



$$\times 100株 = \text{¥}418,800$$

(9月25日終値)

分割前

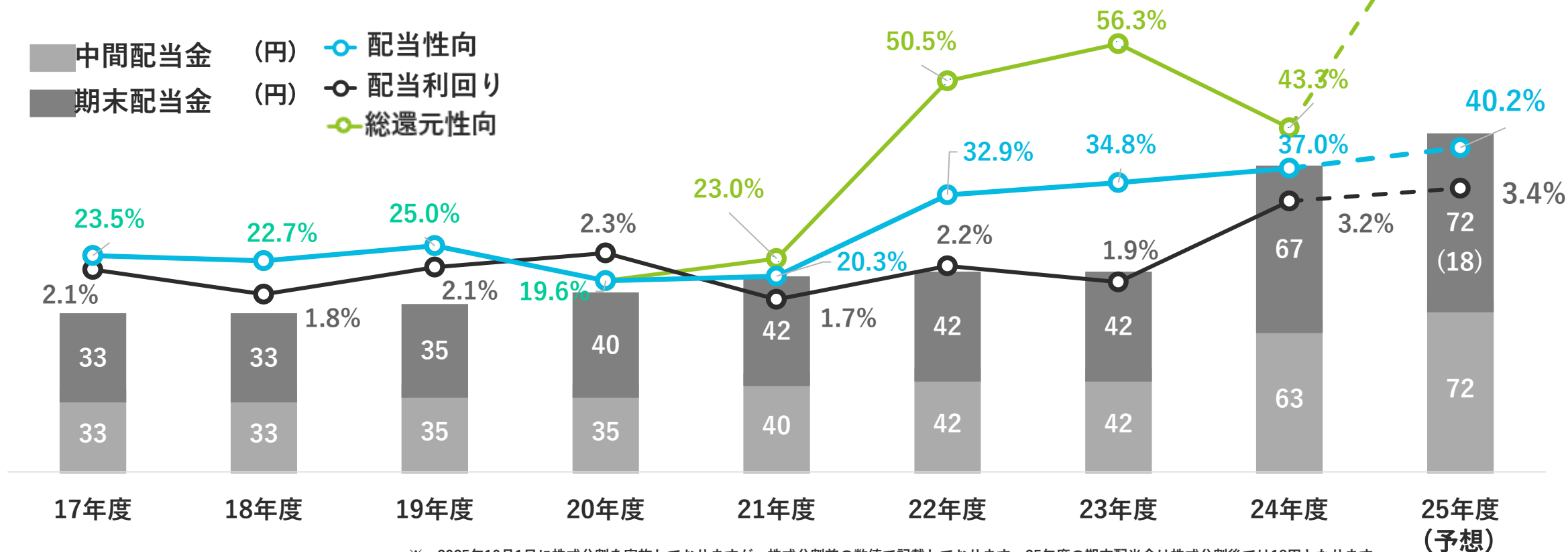
$$\times 100株 = \text{¥}104,700$$

分割後

※2025年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の皆様が対象となります

安定的かつ継続的な配当を行う方針を継続中

配当利回り：3.4%、中間配当金は期初予想より5円増配の72円。
11/7から上限20億円の自社株買いを実施。総還元性向の25年度見込は80%超



※ 2025年10月1日に株式分割を実施しておりますが、株式分割前の数値で記載しております。25年度の期末配当金は株式分割後では18円となります。

25年度の配当性向ならびに総還元性向の見込値は、下半期での自己株式取得を1,137,500株（取得上限：1,820,000株×5か月/8か月）実施した場合の株数を元に算出してあります。

配当利回りは24年度まで期末株価、25年度は1,061円(25年11月10日)を元に算出してあります

2026年3月31日時点の弊社株主の皆様を対象に新たな株主優待制度を適用させていただきます

保有株数	QUOカード贈呈金額
100株 以上	1,000 円分
500株 以上	2,000 円分
1,000株 以上	3,000 円分
1万株 以上	4,000 円分



※デザインは変更することがあります

※2026年3月31日を基準日とした株主名簿に記載又は記録された株主の皆様が対象となります

